
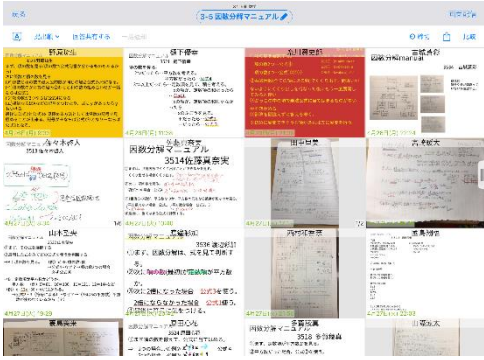

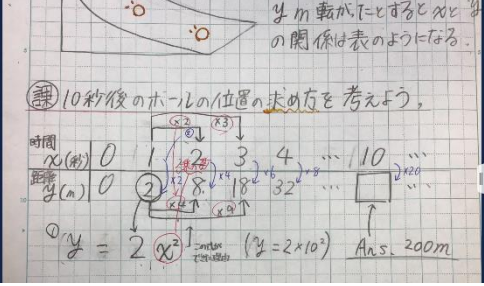


ICT実践レポート

作成者〔北方町立北方中学校〕氏名〔植田一弥〕

学年	第3学年
教材	「多項式」2節「因数分解」， 「2次方程式」3節「式の利用」
活用したソフト・アプリ	<ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノート・スクール https://n.loilo.tv/ja/ 
活用したICT機器	<ul style="list-style-type: none"> ・iPad(生徒一人一台) ・大型スクリーン・プロジェクター(教室備え付け)
活用の実際	<p>○学習レポートを提出する際に利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノートに書いてもよいし，iPad上に残してもよいとし，まとめたものをロイロノート・スクールで提出させ，教室の大型スクリーンに提示する。 <p>〔実践1：自分だけの因数分解マニュアルをつくろう〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書P.31 Q6 ・因数分解ができるようにするには，使える公式は，式のどこに着目すれば判断できるのかが整理されている必要がある。この着眼点を，いろいろな式を使ってレポートとしてまとめるように指示をした。  <p>〔実践2：道路の幅を決めよう〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書P.96 Q2 ・教科書の問題は，垂直な道路の本数を増やして考えるようになっているが，道路を斜めにした問題も追加して考える場を設定した。 ・より発展的に考えられるように，ノートに自由に道路を書くことを指示した。  <p>〔実践3：新しい関数関係を見つけよう〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書P.104 ・本時は，与えられた条件から「yはxの関数であるか」「変化や対応の様子」「式はつくれるか」などを考える時間である。これまでに学習した関数の特徴が当てはまらず，新しい関数である見通しをもったのち，全生徒のノート(考え方)をロイロノート・スクールに画像データとして送り，全体交流の際に使用した。 
生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを記述できない生徒には，仲間のノート(スクリーン)を見ることで，考えをもつことができるようになった。 ・実践1(因数分解マニュアル)では，ロイロノート・スクールを活用して，何枚ものシートに場合分けをして考える手順を示す生徒もいた。
振り返り	<p>授業後にノートを集めると，その時間にどこまで思考できたかが把握できなかったが，iPadを使用することで学習状況を見届けることが容易になった。</p>